



三菱電機 **ビル** 空調管理システム

温度センサ

PAC-SE40TS
PAC-SE40TS-W
PAC-SE40TS-W2

据付説明書

1 安全のために必ず守ること

- 据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分に耐える所に確実にこなう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。
修理はお買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付説明書に従い確実に行なう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。

注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりすることがあります。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因となることがあります。

配線は、張力がかからないように配線工事を行なう。
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。

配線引込口をパテで確実にシールする。
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するとところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。

配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。

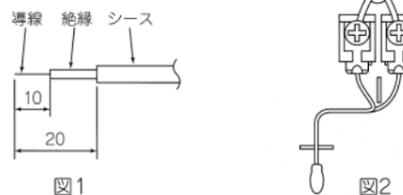
2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

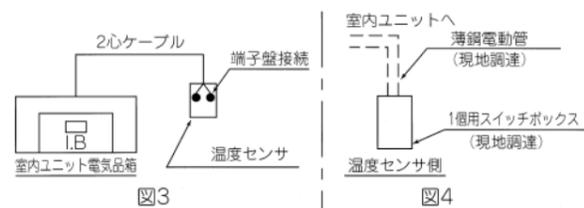
- (1)温度センサ本体 1
- (2)2心ケーブル (10m) 1
- (3)木ネジ 4.1×16 2
- (4)接続用ポスト 1
- (5)変換ケーブル 2

3 据付方法

- 温度センサ（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。但し、下記の事項を必ず守ってください。
 - 温度センサは、部屋の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらない所をお選びください。天井面には据付けしないでください。
 - 付属ケーブル（10m）以内で設置してください。（延長はできません。ノイズによる誤動作の原因になります。）
 - 下記の部品は、現地に調達してください。
 - 十字穴付ナベネジ M4.....2本
 - 1個用スイッチボックス（JIS C8336）
 - 薄鋼電線管（JIS C8305）
 - ロックナット・ブッシング（JIS C8330）
- ケーブルを接続します。
 - 2心ケーブルを下ケースの端子台に接続します。2心ケーブルは図1のように被覆をはがし、図2を参照して正しく配線してください。

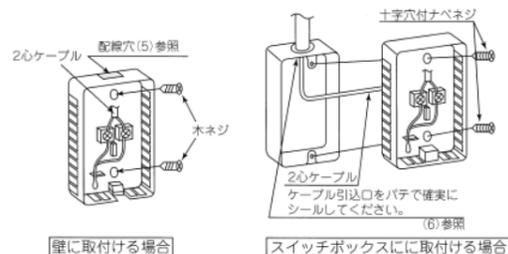


- 室内ユニットの電気品箱と温度センサとの配線は、図3の様になります。2心ケーブルの電気品箱への接続には、3種類あります。
 - 2心ケーブルの端についているコネクタをそのまま使用する場合
 - 2心ケーブルの端についているコネクタを切断して、I.B（インダボード）内の端子台に接続する場合
 - 付属の接続用ポストと変換ケーブルを使用する場合
 上記3種類を使用する室内ユニットに応じて使い分けて使用してください。また、2心ケーブルを壁埋込にする場合は図4の様になります。



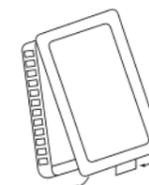
- 下ケースを壁またはスイッチボックスの取付けます。

注意	●ネジを締めすぎますと、ケースの割れ・変形の原因になります。
お知らせ	●2心ケーブルを端子台に付ける時の推奨締付トルクは1.2N・mです。



注意 平らな壁に据付けてください。凹凸のある壁に取付けますと、ケース割れや故障の原因になります。

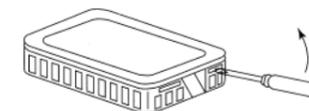
- 上ケースにはめ込みます。



上部爪（2ヶ所）を先に掛けて、左図に様にはめ込みます。

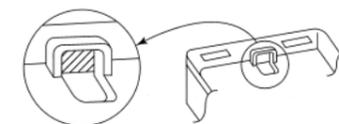
注意 “パチッ”と音がするまで確実ににはめ込んでください。確実ににはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

- ケースを外したい場合、下図の様にマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。



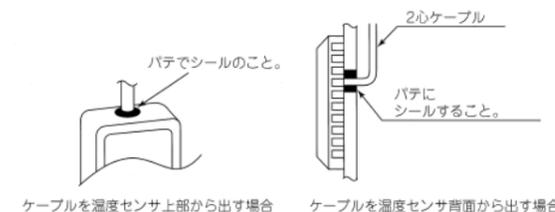
注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

- 壁などに直接据付ける場合の配線穴
下ケースの薄内部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切取ってください。端子台に接続した2心ケーブルをここから出します。



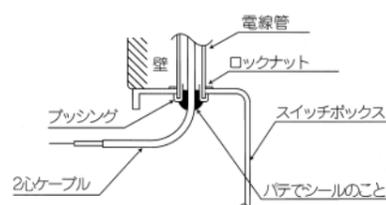
- 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。

- 壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。
- また、壁に穴をあけケーブルを通す場合（ケーブルを温度センサ背面から出す場合）その穴も同様にシールしてください。
- スイッチボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



ケーブルを温度センサ上部から出す場合 ケーブルを温度センサ背面から出す場合

壁に直接取付ける場合



スイッチボックスを使用する場合

4 室内ユニット設定

室内ユニットに温度センサを接続し、室温検知位置を変更した場合、下記のように室内ユニットの暖房時設定温度4degアップ設定を解除してください。

- ①K制御機種 : 室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW1-6番 ON
- ②M-NET制御機種 : 室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW3-8番 ON
- ③A制御機種 : 本体IMのリモコンの機種選択で設定してください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山手平6-5-66
☎(073)436-2111 〈大代表〉